

THE LONGINES WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses

(For 3yos and upwards which raced between 1st January 2015 and 6th September 2015)

8 月はアメリカンファラオ【131】とゴールデンホーン【130】が今季初めての敗戦を喫する月となった。その結果、最新版ロンジンワールドベストレースホースランキングにおいて、上位馬の順位に変更はなかったが、新たに数頭がランキング入りを果たしている。

LONGINES World's Best Racehorse Rankings			
Leading Horses			
Rank	Horse	Rating	Trained
1	AMERICAN PHAROAH (USA)	131	USA
2	GOLDEN HORN (GB)	130	GB
3	ABLE FRIEND (AUS)	125	HK
3	SHARED BELIEF (USA)	125	USA
5	SOLOW (GB)	124	FR
5	TREVE (FR)	124	FR

その筆頭がキーンアイス【123】である。同馬はトラヴァーズステークス(G1)でアメリカンファラオを降している。これまでベルモントステークス(G1)では3着、またハスケル招待ステークス(G1)では2着とアメリカンファラオの後塵を拝してきたが、この競走では3/4馬身差をつけ制し、ついに3冠馬を降した。

過去にエクリプス賞受賞2回のビホルダー【121】は、牡馬との対戦となったパシフィッククラシックステークス(G1)で2着に8馬身1/4差をつけ、圧勝した。今季5歳となった同馬は、ブリーダーズカップジュベナイルフ

イリーズ(G1)とブリーダーズカップディスタフ(G1)の両競走を制した唯一の馬であり、来月のブリーダーズカップクラシック(G1)に出走するかもしれない。

一方、短距離部門ではメッカズエンジェル【120】とプライベートゾーン【120】が印象に残るパフォーマンスを見せた。メッカズエンジェルはナンソープステークス(G1)を2馬身差で制した。この競走では2歳馬アカプルコが2着となったこともまた特筆すべき点である。プライベートゾーンはフォアゴーステークス(G1)では終始リードを保ちながらレースを進め、ザビッグビーストに3馬身3/4差をつけ快勝した。

今後は、注目すべきレースが目白押しである。愛チャンピオンズウィークエンドのメインイベントである、愛チャンピオンステークス(G1)にはゴールデンホーンを筆頭に、英・愛2000ギニー勝馬グレンイーグルス【122】や昨年のこの競走の勝馬ザグレイギャツビー【123】、それにフリーイーグル【123】やシリウスデゼーグル【121】が出走予定である。この他にもファウンドやハイランドリール、プレスカハなどのG1勝馬も出走する。また10月には、トレヴ【124】が凱旋門賞3連覇の歴史的偉業達成に挑戦する予定である。